教科書の観点一覧

**■「Revised Vision Quest 論理・表現Ⅰ Standard」の編集方針**

**VQらしさはそのままに，豊富な場面・状況の中で伝えることの喜びを体験できる教科書とする。**

「表現のための文法を活動に結び付ける」「段階を踏む」「自己達成度を測る」

**① 文脈の中で文法を体系的に学習できる。**

活動につながる文法の定着を目指し，さまざまな場面・状況で繰り返し文法を使用できるよう工夫を凝らした。

Logic & Expressionでは，豊富なモデル文をもとに体系的に文法を学び，言語活動の基礎作りと橋渡しを担う。

**② インプットからアウトプットまでがスパイラルにつながる。**

活動の導入を活動モデルと共通化することで，インプット→インテイク→アウトプットの流れが無理なくつながるようにした。

Model Conversationは，トピックに沿った文法・機能の導入であると同時に，各Logic & Expressionのゴールである，Use it: STEP 2のモデル会話でもある。活動の入口と出口を共通化することで，インプットした内容をアウトプットで再利用し，内容や文法の定着をはかることができるようにした。

**③ 段階を踏んだ授業展開ができる。**

トピックを日常的なものから社会的なものへと段階的に配置し，難易度が徐々に上がっていくように配慮した。各レッスンの構成は，各活動の目的を明確にしつつ，一つひとつ段階的にステップが踏んで定着をはかれるようにした。活動例を豊富に用意し，活動の際の助けとなるようにした。

**④ 場面・状況やトピックに合った語彙や表現を学ぶ。**

Words & Phrasesでは，言語活動で使用できる語彙や表現を参照できるようにした。Functionでは，場面・状況によって文法の機能を使い分ける演習をすることができるようにした。

**⑤ 自己の達成度を測る。**

Projectでは，それまでのレッスンで学んだ文法などを使いながら，「読む」「話す」「書く」という３領域の技能を統合的に測定することができるようにした。巻末のProject振り返りシートを使い，生徒が自己の達成度を振り返り，今後の目標を立てる，主体的な態度を育めるようにした。

**■「Revised Vision Quest 論理・表現Ⅰ Standard」 の構成**

**Warm-up** その課のトピックに関連した動画を見て，ペアで導入活動を行う。

**Model Conversation** その課のトピックに関連した会話から文法，機能を学ぶ。

 Use itのSTEP 2のモデル会話として論理展開を理解し，参考にする。

**Listening Task** Model Conversationに関する正誤リスニング問題。

**Example Bank** 文法表現のまとめ。発信活動の基礎を身に付ける。

**Try it out** Example Bankで学んだ文法を，問題演習を通して定着させる。

**Use it** その課で学んだ文法や表現を使って，論理的な英文を話したり，書いたりする基礎力を養う。

**Function** 言語の機能を表す表現を学ぶ。

**Words & Phrases** 発信活動に使える単語・フレーズを掲載。

**Project** 「読む」「話す」「書く」技能を測る自己達成度テスト（パフォーマンステスト）。

**ASSISTANT** 言語活動を行う上で重要な知識や「論理・表現Ⅱ」につながる発展的な内容を扱う。

**Further Activity** ディベート，ディスカッションという高度な言語活動を行う。

**Appendix** さまざまな英語の基本ルールについて詳しく解説。